#40

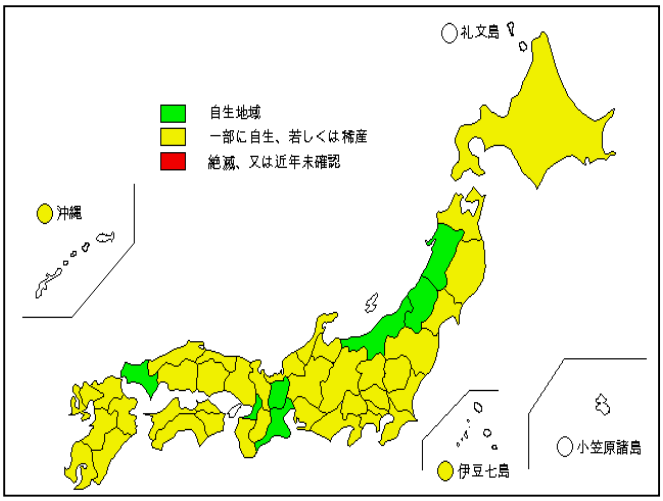
# エビネ（ジエビネ）

絶滅危惧Ⅱ類（VU）

Calanthe discolor

杉林下での自生（愛知県奥三河　09.4/30）

全国の薄暗い樹林下に自生する大型の地生蘭です。日本の蘭といえばエビネと言うほど代表的な野生蘭です。草丈は30cmほどになり、4～5月に赤茶色の美しい花を咲かせます。花色は変化に富み、緑に近いものから明るい赤色まで個体差があります。花には芳香があり、非常に観賞価値の高い蘭です。本種は湿って直射日光の当たらない林下を好むこと、また湿度を好むことから沢沿いの杉林や広葉樹林などで見ることができます。冬も常緑で、1年にひとつづつ新たなバルブを形成し横に伸びて行きます。バルブは10年以上も地中に残り連なっていくため。海老の背中にたとえられこの名がつきました。このエビネ類にはキエビネやキリシマエビネなど数多くの種があり、基本種を総じてジエビネと呼んでいます。エビネ類はこれらの相互種間で多くの自然交配種も見られますので花色のバリエーションは無数に存在します。




全国の薄暗い山地に自生します。

花のアップ（愛知県奥三河　09.5/01）

この美しさから70～80年代にはエビネブームが巻き起こり、ほとんどのエビネ類は山野から盗掘されつくし、現在では自生を見ることが困難になってしまいました。本種もウチョウランやイワチドリ、セッコク、カンランなどと並び、美しさゆえに「売れる蘭」として悪質な業者や販売目的の人間に手当たり次第に盗掘された悲しい蘭の一つです。自生環境が深山だけでなく人里近くが多かったこと、さらには大型で目立つこと、冬も常緑で発見しやすいことなどから人間に見つかる場所ではことごとく盗掘され尽しました。あまり盗掘話ばかり書きたくはありませんが、それだけ本種に対する盗掘は徹底的であったということです。また、宅地開発や道路工事による自生地の消失も少なくありませんでした。今では昔ほどの山野草ブームもなく、原種よりも何倍も色鮮やかな交配品種が商用生産されており安価で手に入ること、また愛好家のモラルの向上などにより自生地の減少スピードは少し緩やかになってきているようです。

Document and photo by LittleFlower 2009

入手は容易です。産地のはっきりした原種にこだわらなければホームセンターでも手に入りますし、庭で栽培されている方も多いので、一株頼んで譲って頂くのも良いでしょう。栽培も容易で、あまり乾燥しない木陰でしたら腐葉土を混ぜた土で地植えにしても良く育ちます。鉢植えでもプランターでも結構です。寒さには強い蘭ですが、冬場は藁や落ち葉をかけて新芽を寒さから護ってあげてください。また、エビネ類はウィルスに侵されることがあり他の株にも感染するため、葉の奇形など明らかな異常を発見した場合には症例を調査し、ウィルス感染であれば確実な焼却消毒が必要です。 増殖も容易で、毎年一つのバルブから1,2芽は新芽が出ますので、環境があっていれば1芽が数年で10芽ほどの株立ちになることもあります。実生増殖も可能で親株やシュンランなどの根元に種子を撒いておけば翌年に芽を出すこともあります。無菌培養も発芽、成長率は良いほうです。また、地下にある数年前のバルブを2～3個づつに分けてミズゴケなどに埋めておくと新芽がでて成長を始めます（バルブ吹かし）。

杉林下での自生（愛知県奥三河　09.5/01）

杉林下での自生（愛知県奥三河　09.5/04）

エビネ類にはかなりの種類があり、大きく分けて春咲き種と夏咲き種があります。海外には落葉種もありますが、日本は全て常緑種です。代表的なものとしては、春咲きのエビネでは、キエビネ：大型種。鮮やかな黄色が特徴です。 キリシマエビネ：暖地性で桃色。 サルメンエビネ：寒冷地性で黄茶色。 キンセイラン：冷涼な山地に自生。 ニオイエビネ：伊豆諸島特産。強い芳香が特徴。 キソエビネ：冷涼な山地に自生。うつむき加減に花をつける。　夏咲きのエビネでは、 ナツエビネ：全国の冷涼な山地に自生し花色は青。 オナガエビネ：南方系で濃紅色。 ヒロハノカラン（ダルマエビネ）：南方系でリップが大きく純白。 ツルラン：南方系で白花。 秋咲きとしては トクサラン：南方系でガンゼキランのように木立性で黄色い小花を咲かせる。　などがあります。詳細はそれぞれのページで紹介致します。

また、ジエビネだけとってみても数多くの地域変種があります。沖縄に自生しリップの大きいカツウダケエビネや鹿児島のサクラジマエビネ、徳之島に自生するトクノシマエビネやハノジエビネがこれにあたります。また、同じ地域に数種類のエビネが自生している地域では、自然交雑種も多く確認されております。
【タカネ：ジエビネ×キエビネ】
【ヒゼン：ジエビネ×キリシマエビネ】
【ヒゴ：キエビネ×キリシマエビネ】
【イシヅチ：ジエビネ×サルメンエビネ】
【コオズ：ジエビネ×ニオイエビネ】
※人工交雑種は洋ランのように星の数ほどのネーミングがつけられている為説明は割愛いたします。

雑木林での自生（静岡県浜松市　09.5/04）